

第 15 回建設業経理士 1 級原価計算 解答速報

〔第 1 問〕 解答にあたっては、それぞれ200字以内（句読点含む）で記入すること。

問 1

まず、直接配賦法の特徴は、補助部門間相互の用役授受を計算上すべて無視する点にあり、最も簡便的な方法といえる。☆☆次に、階梯式配賦法の特徴は、補助部門間相互の用役授受を一部考慮し、高順位の補助部門から低順位の補助部門への用役提供のみ段階的に配賦計算を行う点にある。*最後に、相互配賦法の特徴は、補助部門間相互の用役授受をすべて考慮して実態を適正に反映するように配賦する点にあり、最も厳格な方法といえる。☆☆

問 2

累積的回収期間法は、投資額を、投資によって生じる年々のネット・キャッシュ・フローで回収した場合、何年目で投資額が回収できるかを計算し、☆☆回収期間の長短によって投資の安全性を判断する方法である。*その長所は、計算が簡単で理解しやすく、投資額の早期回収を優先する経営者にとっては有効な評価方法である点にある。*一方、短所は、時間価値を考慮していないのみならず、資金回収後の収益性を考慮していない点にある。*

予想採点基準

☆の前の文の内容が
正解で 2 点×10=20 点

〔第 2 問〕

記号(ア～ス)

1	2	3	4	5
カ	キ	工	才	イ

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

予想採点基準

☆…2 点×5=10 点

〔第3問〕

- ① 差額収益 ¥ ☆☆☆
- ② 差額原価 ¥ ☆☆☆
- ③ 差額利益 ¥ ☆☆

予想採点基準

☆…2点×6=12点
 ★…1点×2=2点
 合計 14点

〔第4問〕

- (1) 第1工程の月末仕掛品原価 ¥ ☆☆☆
- (2) 第1工程の完成品単位原価 ¥ ☆☆
- 第2工程の完成品単位原価 ¥ ☆☆☆

予想採点基準

☆…2点×8=16点

〔第5問〕

問1

<u>完成工事原価報告書</u>			
自 平成×3年10月 1日			
至 平成×3年10月31日			
		宮古建設工業株式会社	
		(単位：円)	
I. 材料費		1,781,690	☆☆
II. 労務費		1,519,190	☆☆
	(うち労務外注費	651,730) ☆
III. 外注費		437,520	☆☆
IV. 経費		1,066,210	☆☆
	(うち人件費	546,735) ☆
完成工事原価		4,804,610	☆☆

問2

¥ 2,014,140 ☆☆

問3

- ① N材料の副費配賦差異 ¥ 1,050 ☆★ 記号(AまたはB) A ★
- ② 運搬車両部門費予算差異 ¥ 9,770 ☆★ 記号(AまたはB) B ★
- ③ 運搬車両部門費操業度差異 ¥ 5,000 ☆★ 記号(AまたはB) A ★

予想採点基準

☆…2点×17=34点

 ★…1点×6= 6点

 合計 40点